

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	騒音・振動対策事業				会計	款	項目	大	小
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び事業所	意図	騒音及び振動を防止し、市民の生活環境を整える。
事業内容	騒音及び振動の測定並びにその発生源への指導を行うことにより、市民の健康で安全かつ快適な生活環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	これまでは、工場等の事業所や建設工事、自動車の交通騒音及び振動の問題が多かったが、それらに加え、現在は、店舗や近隣住民が出す騒音も問題になりつつある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	特定建設作業に係る届出件数	445	448	394	
②	特定施設の設置届出件数	3	5	5	件	↑↑↑	
③	道路騒音・振動調査	8	8	8	件	→→	
④							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内における「特定建設作業に係る届出」の数については、増加傾向にある。今後とも良好な住居環境の確保に努めるために、事業者や市民の騒音・振動に対する意識の向上と理解を図る。		
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,779,185	3,197,770	3,087,191
事業費(b)(円)	1,917,825	1,800,370	1,705,338
うち一般財源	1,917,825	1,800,370	1,705,338
職員給与費(c)(円)	861,360	1,397,400	1,381,853
人役・職員(人)	0.12	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取り組みの課題	特定建設作にかかる届出増加に対応するための事務作業の効率化
②今年度(H26)に実施した取り組み	特定建設作業実施届出書の不要な項目の電子記録の簡略化	④今後の改善計画	開発行為増加に伴う騒音・振動測定調査の需要の高まりに応じて、職員の騒音・振動問題への対応力の向上。